

岩手医科大学歯学部支援基金について

歯学部同窓会 会長 三 善 潤

本会では母校歯学部支援のため、別紙の趣意書及び寄付金募集要項による募金を令和7年7月1日より開始いたしました。

皆様のこの募金につきましてのご理解とご支援をお願いいたしたく、よろしくお願い申し上げます。

＊ 令和7年7月末までのご寄付者は、61頁にご紹介を申し上げます。

関係書類（次頁以降）

1. 「岩手医科大学歯学部支援基金」設立と基金への寄付のお願い（趣意書）
2. 寄付金募集要項
3. 岩手医科大学歯学部支援基金募金状況報告
4. 寄付金申込書（個人用）※同封送付

その他

1. ご寄付は、寄付金申込書により個人（個人用寄付金申込書は同封送付）又は支部単位（同期会単位等を含む）でのご寄付となります。
2. ご寄付に係る免税
所得税法上の免税をうけることができます。
3. ご寄付に係る寄付金申込書等関係書類（上記関係書類1・2及び寄付金申込書）について、ご必要であればお電話・ファクス・メール等により下記宛て関係書類をご請求下さい。

＊個人の寄付金申込書は、同封送付の申込書をご使用下さい。
（この申込書にご記入の上、寄付金をお振込みいただければ、手続きは終了です。）

TEL 019-651-5111（内線 7003・7004）

TEL 019-624-8386（直通）

FAX 019-624-8380

E-mail info@keiryokai.gr.jp

「岩手医科大学歯学部支援基金」 設立と基金への寄付のお願い（趣意書）

岩手医科大学歯学部同窓会

会長 三善 潤

会員の皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素より歯学部同窓会活動に對しまして、ご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

平成24年に設立された「歯学部改革プロジェクト支援基金」は、各位のご支援のおかげで米国・ハーバード大学との連携が推進され、ソサエティー制度構築により学生への個別指導の強化と自習環境の改善および教員の育成、研究強化が図られるなど一定の成果をあげることができました。

さて、近年の深刻な少子化、歯科の魅力低下という社会情勢に加え、不利な地域性から、私たちの母校である岩手医科大学歯学部は受験者数・入学者数の激減という極めて厳しい状況にあります。受験者数の減少により入学生の選抜が難しくなった影響から、留年率の上昇、国家試験合格率の低迷へと影響し、このことが更なる受験者数の減少へと繋がり負の連鎖が生じています。その状況を打破すべく、歯学部同窓会は「岩手医科大学歯学部復活のために－同窓会からの提言20240424－」を小笠原邦昭学長に提出し、同窓生の声を届けました。その後、小林琢也歯学部長が中心となって歯学部改革に取り組み、令和7年度学生募集要項に特待生制度が導入されました。令和7年度歯学部入学者数は昨年度より10名増加し競争倍率も上昇して、学生の獲得においてやや改善傾向が認められるものの、未だ定員割れの状況にあり、今後は広報戦略が重要な鍵となります。一方、歯科臨床実習及び歯科医師国家試験対策のための臨床・教育施設としての内丸キャンパスは、大学創立120周年事業の一環として60周年記念館への移転が予定されていたことから修繕等が最小限に抑えられていましたが、諸事情により第5・6学年の学生や教職員は歯学部創設当時と同じ内丸歯学部棟で教育と臨床を行っています。

前述のような課題を解決するためには、

- ・学生確保のための大学進学に関わる各方面に向けた継続的な広報戦略
 - ・学生の教育環境（施設・設備等）の整備
 - ・高い知識習得による進級率や歯科医師国家試験合格率向上のための講師派遣
 - ・指導教員に対する支援（指導優秀者表彰、教育研修会実施派遣等）
- 等に対して財政的な支援が必要と考えています。

歯学部同窓会としてはこれまで毎年、200万円の財政的支援を実施してきましたが、新規準会員（新入生）数減少等の影響により一時金の収入が激減し、通常の財務維持さえ切迫しているため、さらなる支援を進めるには、一般会計からの支出は困難な状況にあります。

そこでこのたび、「岩手医科大学歯学部支援基金」を設立し募金を開始することといたしました。会員皆様に別紙要項の通り寄付をお願いし、歯学部復活のために用途を限定した基金により、支援したいと考えております。

つきましては、会員各位には諸種多端の折、誠に恐縮ですが、趣旨をご理解の上、何卒ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

寄付金募集要項

名 称：岩手医科大学歯学部支援基金

- 目 的：岩手医科大学歯学部再生のための諸施策支援
- ・ 学生確保のための大学進学に関わる各方面に向けた継続的な広報戦略
 - ・ 学生教育環境（施設・設備等）の整備
 - ・ 高い知識習得による進級率や歯科医師国家試験合格率向上のための講師派遣
 - ・ 指導教員に対する支援（指導優秀者表彰、教育研修会実施派遣等）

目標金額：30,000,000 円

寄付金額：10,000 円／1 口（1 口以上）

依頼先：岩手医科大学歯学部同窓会会員、岩手医科大学圭陵会会員、その他
（個人でのご寄付、各支部単位でのご寄付とも承ります）

振込先：岩手銀行本店 普通預金
口座番号 2389262
口 座 名 岩手医科大学歯学部支援基金
会長 三善 潤

お振込み手数料は各自ご負担とさせていただきますことをご了承願います。

なお、お振込みいただいた寄付金は、歯学部同窓会を通じて大学に全額送金し、歯学部が展開する諸施策のために使用されます。

ご寄付いただいた皆様は、確定申告で税制上の優遇措置を受けることができますので、大学から発行される寄付金領収書等の書類を大切に保管願います。

11 月 30 日までに寄付された分につきましては、12 月中に歯学部同窓会から大学に送金し、翌年 1 月末までに岩手医科大学から優遇措置のための書類が発行されます。

募金窓口：岩手医科大学歯学部同窓会（代表：三善 潤）
〒 020-8505 岩手県盛岡市中央通 1 丁目 3-27
電話 代表 019(651)5111（内線）7004
ダイヤルイン 019(651)5110（内線）7004
F A X 019(624)8380

岩手医科大学歯学部支援基金募金状況報告

本会募金に対しまして、ご寄付を賜りました皆様に心より御礼を申し上げます。
ご支援をいただきました皆様のご理解とご協力に対しまして感謝を申し上げ、
ご寄付をいただきました皆様のご芳名を掲載させていただきました。
今後とも引き続き、ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。
＊ご芳名とご寄付いただきました金額につきましては、掲載をご承諾いただきました方のみご紹介いたしております。

第 1 回 ご寄付者の紹介：令和 7 年 7 月 1 日寄付開始～令和 7 年 7 月 31 日

＊お名前は、区分毎、敬称略、ご寄付受付順。

- ☐ 支部等（2 件）
〈1,500,000 円〉 歯学部同窓会道央支部
〈100,000 円〉 歯学部同窓会群馬県支部
- ☐ 個人（8 件）
〈1,000,000 円〉 大庭 英樹（医 46、在学生ご父母）
〈300,000 円〉 石北 裕（歯3）
〈100,000 円〉 三上 弘之（歯3）
〈50,000 円〉 佐藤 忠朋（歯7）
〈39,000 円〉 佐久間英治（歯12）
〈30,000 円〉 平尾 慶太（歯14）
〈20,000 円〉 石田 哲彦（歯3）
〈10,000 円〉 熊谷 哲也（歯24）

- ☐ ご芳名のみ（9 件）
佐藤 厚（歯12）、松村 猛（歯14）、阿部 隆（歯 3、医26）、
木村 貞昭（歯12）、近藤 康弘（歯12）、吉成ひろ子（医37）、
新井 桂（歯14）、吉成 仁（医38）、山崎 勝之（歯12）

区 分	申込件数	寄付金額（単位：円）
支 部	2	1,600,000
圭 陵 会 会 員	23	2,339,000
在学生ご父兄	—	—
そ の 他	—	—
合 計	25	3,939,000

＊令和 7 年 7 月 1 日寄付開始～令和 7 年 7 月 31 日